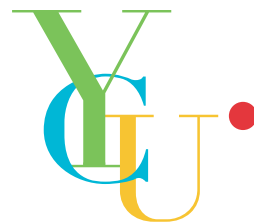




進 交 会 報



進交会館



一 目 次

理事長・学長・校長挨拶	三
進交会からのお知らせ	四
横浜市大校歌秘話	五
大切なのは人間関係	六
コロナ感染症に対する市大取組	七
祝 直木賞受賞 馳星周氏・市大だより	八
市大部活動だより	〇
Y校だより	一
Y校部活動だより	二
進交会だより	四
Y校会だより	五
市大同窓会だより	一
計報・編集後記	六

令和3年 進交会新年懇親会開催 中止のお知らせ

令和3年1月30日(土)に予定
しておりました新年懇親会は新型
コロナウイルス感染拡大予防に伴
い中止とさせていただきます。
本年と2年連続の開催中止とい
なりましたことは、楽しみにして
おられる会員の方には誠に申し訳
ございませんが、何卒、ご理解、
ご了承賜ります様よろしくお願
い申し上げます。

発行所 一般社団法人 進交会

〒 231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 6-111
電話 045-681-6575 FAX 045-681-6585

メールアドレス shinkokai@nifty.com
ホームページ <http://shinkokai-web.jp/>

新進交會館の完成を

新しい時代の幕開けとして



一般社団法人進交会 理事長 古屋 文雄

令和2年3月の新進交會館落成に際し、会員の皆様には多大なるご協力を賜り改めてお礼申し上げます。また、本年5月から実施しました「新進交會館落成記念キャンペーン」につきましては9月末の締切日現在、四九九名の方から総額九八八万円の終身会費納入のご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。

令和2年はコロナで始まりコロナで終わろうとしています。コロナ禍はオリンピックの延期、無観客試合の実施、オンライン授業、各種学校行事の中止、在宅勤務、オンライン会議、不要不急の外出の自粛等、経済・環境・人の移動の面で大きな影響を与えました。進交会も例外ではありません。落成式の中止、総会・理事会の中止による「書面による決議」の採用、そして「みなと倶楽部」「貸会議室」は10月末現在のご利用状況が旧進交會館の3割程度に滞っており、誠に申し訳ない思いであります。

さて、進交會館は1階テナント、4階〜9階の賃貸マンションの入居が全室完了し、良好な滑り出しとなっております。特に24戸の賃貸マンションは賃貸リスクの分散化を図ることができ、旧進交會館でのテナントの入退去に伴う不安定な経営リスクの悩みが解消され、その結果、財政的な基盤が整い経営の安定化を図ることができている見通しが立ちました。この「新會館の完成と進交会の経営形態の変更」を新しい時代の幕開けと位置づけ、過去の諸先輩の築いてきた実績を損なわず、「持続可能な進交会」に向けて更なる飛躍を目指し、役員、会員の皆様が一丸となって邁進していくことを願う所存であります。

最後に、新型コロナウイルスの早期終息を心から願ひ、会員の皆様にはくれぐれもご自愛いただくことを祈念いたします。そして、地域の問題もありますが、会員の皆様には、進交會館のお近くにおいでの際は是非、お立ちよりくださいます様お願い申し上げます。

コロナ禍でも未来の発展に向け歩み続ける



横浜市立大学学長 相原 道子

新型コロナウイルスの影響は現在も続いており、収束の見込みが立たない状況ですが、本学の附属2病院では、神奈川県内の重症・中等症患者を受け入れる中核的な医療機関として、最善を尽くしてまいりました。

大学においても、学生が安心して学修できる環境を確保し、持続可能な質の高い教育を提供するため、前期の授業のうち講義科目は全てオンラインで実施しました。あわせて、経済的に困窮する学生を対象とした一時金の支給、心理的不安解消に向けたオンライン相談等、学生への支援にも力を入れてきたところです。

9月下旬からの後期の授業は、感染対策を十分に講じた上でオンラインと対面を併用し、対面授業は新入生が履修する科目を中心に実施しています。課外活動に関しても、7月上旬から体験会を主目的とした活動を段階的に再開し、新入生が教

特別な一年を振り返る

横浜市立横浜商業高等学校校長 磯部 修一



令和二年は、「特別な年」でした。年明けの一月から新型コロナウイルスに関するニュースが報道され始め、学校は三月三日から突然、臨時休業に入りました。

その後、年度末、年度始めに登校できた日が数日あったものの、学校の再開は六月でした。感染防止対策としてしばらくはクラスの半数ずつが午前、午後に分かれて登校するという状況が続きました。

学校が休みの間は、課題を出したり、学習内容を説明する動画を発信したり、電話で質問を受けたりすることで、生徒の学習への取組を支援しま

員や他の学生と直接交流する機会が得られるように配慮しています。

現在、本学では「新型コロナウイルス緊急対策基金」を設置し、附属2病院の診療機能拡充や学生の経済支援のために活用させていただいております。この度、進交會様のご厚意により、募金趣意書を同封させていただきました。何卒、ご理解・ご協力をよろしく願ひいたします。既に温かいご支援・ご寄附をいただきました皆様には、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

今年度は、地方支部総会の開催が相次ぎ中止とお伺いし誠に残念ですが、感染拡大が収束し、全国各地の進交会の皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

今年4月に開設したみなとみらいサテライトキャンパスでも、横浜市が掲げる「イノベーション都市・横浜」の実現を目指し、大学院教育や産学連携を推進しています。コロナ禍においても横浜と共に歩み、歴史と伝統を重んじ、未来に向けて常に発展する横浜市立大学に、引き続き変わらぬご支援をよろしく願ひいたします。

した。

この長期にわたる休業によって、学校というものが、単に「学習する」ところではなく、友達や教職員等とのコミュニケーションの場であり、いろいろな人と「生活する」場所であることが改めて認識されました。

これまででは、当たり前前でも気にもしていないものが、なくなることで、その大切さ、ありがたさがわかる一年でした。そして、安心、安全、健康が社会の基盤となっていることも再確認しました。

今後ともY校に集う生徒が、豊かなコミュニケーションを通して仲間と学びあい、多様な考えに触れて、社会性や人間性を育むことができるよう心がけます。

【終身会費年代別・学校別納入者数内訳】 (単位：名)

卒業年代	Y校	市大	合計
昭和20年代	12	3	15
昭和30年代	49	33	82
昭和40年代	86	63	149
昭和50年～64年	30	114	144
平成1年～31年	30	69	99
令和1年～	7	3	10
合 計	214	285	499

※納入者のお名前は紙面の都合上、割愛させていただきます。ご了承ください。

☆『新進交會館落成記念キャンペーン』に「協力ありがとう」ございました。

新進交會館の落成を祝し、令和2年5月から開始しました『進交會終身会費割引キャンペーン』を9月30日で締切りをさせていただきます。

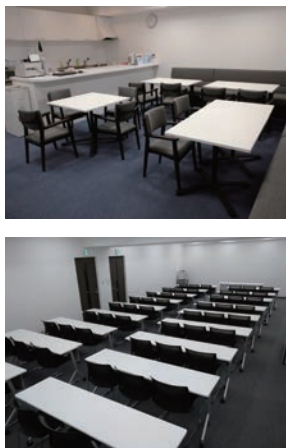
おかげさまで四九九名の方に総額九九八万円の終身会費を納入いただきました。厚く御礼申し上げます。

また、新たに会費を納入された方が三四四名(69%)、年会費からの切り替えの方が一五五名(31%)で、会員の皆様方の進交會への関心をより高めていただけたものと感謝しております。

	みなと倶楽部 (2F)	貸会議室・イベントスペース (3F)
面積	75㎡ (22坪)	89㎡ (27坪)
収容人数	40名	70名
営業時間	◎平日・土曜日12:00～19:00 ※予約なしで、『みなと倶楽部』をご利用の場合は、当日17時までにご連絡ください。 ※予約がない日は17時に閉店させていただきます。 ◎日曜日は当面、閉館させていただきます	
利用料 平日 土曜	会 員：300円 (飲食を伴う場合は不要) 非会員：500円 ◎日曜日は当面、閉館させていただきます	会 員：2時間まで 3,000円 以後1時間毎に 1,000円 非会員：2時間まで 5,000円 以後1時間毎に 1,500円 ◎日曜日は当面、閉館させていただきます

☆リニューアルした『みなと倶楽部』・『貸会議室・イベントスペース』を是非ご利用ください。

(営業時間は新型コロナウイルス感染予防期間中に限りです)



☆みなと倶楽部の飲食のメニューは…

1階テナント入居の横浜関内地区の人気店『麵処 おおぎ』(14頁広告参照)からの各種うどんと酒肴(60種類)が注文でき、また、従来同様『馬車道十番館』『勝烈庵』等横浜の老舗料理を注文することができます。

☆新型コロナウイルス 感染防止対策は…

みなと倶楽部では利用者・従業員の安全を確保し、利用者の皆様方が安心して使っていただくために以下の感染防止策を行っております。

1. 検温、手指消毒の実施
2. 三密の防止
- (1) 利用者のみなど倶楽部、貸会議室の人数制限
- (2) ソーシャルディスタンスの確保
- (3) 換気
3. アクリル板の設置
4. 接客中従業員のマスク着用

賃 貸 経 営

STSS 事前調査から経営計画、設計・施工まで安心のトータルサポート。

FG35 安心の最長35年間家賃保証*。安定収入で経営負担から解放されます。

賃貸経営トータルサポート

一括借上げシステム

*融資期間による

SEIWA 生和コーポレーション株式会社 横浜支店第一営業部

GOOD DESIGN

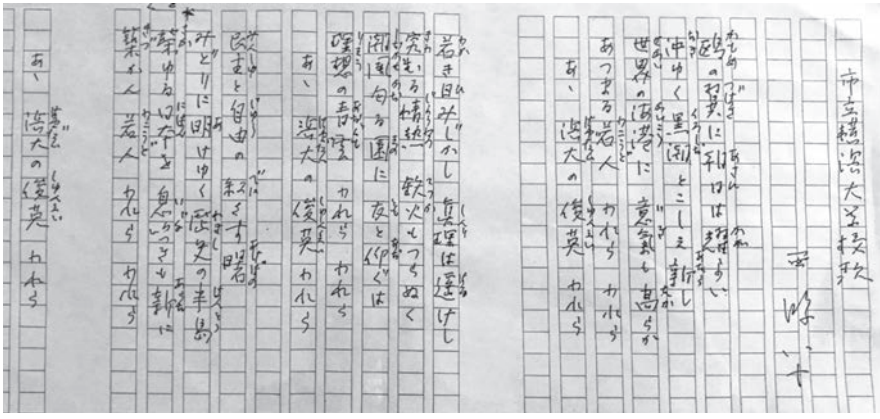
カタログ資料ご請求・お問合せ
☎045-478-0640

10年以上のおつきあい
生和イメージキャラクター
松岡 修造さん

「ああ、浜大の 俊英われら〜♪」

〜校歌に託されたエール秘話〜

西尾留美子（市大園総平29卒・市大院平31修了）
市大の校歌は、西條八十作詞、古関裕而作曲です。そして古関裕而は、今春から始まったNHK連続テレビ小説「エール」の主人公となっています。



横浜市立大学校歌 作詞：西城八十 作曲：古関裕而

（西城八十自筆 横浜市立大学蔵）

古関裕而は一九〇九（明治四十二年）年に福島市の呉服店で生まれ、上京し、

愛知県豊橋市生まれの金子（きんこ）さんと三年間の文通を経て結婚し家庭を築きました。明治・大正・昭和と激動の時代、特に青春時代は戦争と重なり、若い頃のことを聞かれるとふと瞳が曇ったそうです。さまざまな学校の校歌や応援歌に加え、戦時中は軍歌の他にも、家族を戦地に送った婦人进行隊の曲や、戦争が終ると原爆や戦争で深く傷ついた人たちに慰めるレクイエムなど数多くの曲を作り、八〇歳でその生涯を閉じました。また、今でも「六甲おろし」や「栄冠は君に輝く」など、スポーツの応援歌として愛されている曲も数多くあります。古関裕而は生涯で約五千曲を作ったと言われており、浜大校歌の最後の部分と、「栄冠は君に輝く」の最後のメロディとはよく似ています。それは彼にとつて、青春の溢れるエネルギーが同様に感じられたからでしょう。



古関裕而さん

浜大校歌は、どのような経緯で西條八十作詞、古関裕而作曲となったのでしょうか。

校歌作成委員会は校歌の募集を『横浜市新報』29号（1953年）に掲載しました。そこには、最初に学生の応募で集まった優秀な作品が紛失してしまったことや、その後は再三募集をしても集まらないこと、大学発足後五年になろうとしているのに校歌や学生歌、応援歌がないこと、ついに「学長賞五千元」などとうた募集したことが書かれています。しか

し、校歌に相応しい優秀作はなく応募九作品を素材として専門家に制作を依頼することにになりました。元文部事務次官の菊池豊三郎学長が、知り合いであった西城八十に作詞を依頼し、さらに西城八十から依頼を受けて古関裕而が作曲したのが現在も歌われている校歌です。歌詞、曲ともに品格ある校歌の誕生となりました。もし、あの紛失事件がなかったら、この校歌は生まれなかったかもしれませぬ。紛失を告白し再々度募集をするというような、元来日本人がもつ正直さのおかげで、二十一世紀にも示唆を与える歌詞と希望湧くメロディが横浜市大の誇りとして歌い継がれることになったと言えるのかもしれない。



『横浜市新報』29号（1953年）

歌うときは、八小節目までは明るくリズムカルに、九小節目からは少しの間悠々としたメロディに、最後は「ああ、浜大の俊英、われら〜♪」と高らかに歌い上げます。浜大校歌は、歌うもの自らへのエールとなる曲です。

ONWARD

Tel. 0120 586 300 www.onward.co.jp



大切なのは人間関係

鈴木 浩 (昭49Y卒)

私はS49年Y校を卒業し、S51年10月横浜市役所に入庁しました。

Y校時代は、バレーボール部に所属、卒業後もY校時代の先輩に誘われ、クラブチームや市役所でバレーボールを続けていました。

市役所では、区役所、教育委員会、市大病院、緑政局、資源循環局、横浜緑の協会(休職派遣)と多方面にわたり、いろいろな行政の仕事を経験しました。仕事をやる上で何が最も大切なのか?と自分なりに考え40年以上役所生活を送ってきましたが、「大切なのは人間関係」「人とのコミュニケーション」「相手を信じること」など、常に人と人との繋がりが大切だったと痛感しています。

平成23年4月に金沢動物園長に就任し、翌年、よこはま動物園ズーラシアの副園長、25年4月には野毛山動物園の園長に就任しました。

本来、事務職の私は、動物に関しての知識は全く皆無で、飼育員の方々の知識・経験には驚かされることばかりでした。園長としてそれではいけないと思い、動物に関する知識を少しずつ身に付けて行く努力をしました。最初に始めたことは、飼育員とのコミュニケーションを図ることです。飼育員が動物の世話している所に出向き、邪魔にならないように会話をし、手伝えることがあれば積極的に手伝いました。次第に、飼育員も本音で話をしてくれるようになり、「どうすればお

客様に喜ばれ、動物たちが生き生きと暮らせるか」「より良い動物園にできるか」など、同じ目標に向かって一丸となつて進めたような気がしています。

金沢動物園長に就任直後、ヒガシクロサイの赤ちゃんが誕生しました。とても喜ばしい出来事ですが、赤ちゃんを母親が誤って踏んでしまうというアクシデントに直面しました。動物が自分で立つことができない場合、安楽死をさせなければならず、その判断は園長が行います。新米園長として、最初の重要な判断が

「安楽死」かと思うと、いてもたってもいられず、何とか無事に育ってほしいと、毎日祈るばかりでした。瀕死の状態に、飼育員・獣医が徹夜で看病にあたってくれ、幸いなことに、赤ちゃんは無事に立ち上がる事ができ、私自身もホッとしました。赤ちゃんと、一緒に写真を撮って、動物園30周年記念誌の園長挨拶に掲載した思い出は忘れられません。

よこはま動物園ズーラシアでは、副園長として、ヒトコブラクダを購入するために、長崎県佐世保市へ日帰り契約で行ったこともありました。その時購入したヒトコブラクダは、現在ズーラシアのラクダライドで活躍しています。

野毛山動物園の園長就任の際は、係長時代2年間お世話になっていたこともあり、古巣に帰ってきた感じがしました。

野毛山動物園には、世界最高齢のフタコブラクダの「つがる」がいて、来園者にとっても人気がありました。つがるは、前足が関節炎で伸ばすことができず、後足だけで移動をしています。普段は

あまり起き上がらず、寝たままの状態でしたが、取材でカメラが入ると突如起き上がり、カメラ目線になる大女優で、多くの取材に対応してくれ、野毛山動物園のPRに努めてくれました。

園長というと、子ども達からとても人気がありますが、動物の中には園長が大嫌いな動物もいます。歴代園長を嫌うチンパンジーの「こぶへい」は、園長が檻の前に行っただけで大騒ぎ。来園者は喜んでくれますが、小さい子供は怖がって泣いてしまうという始末です。

また、野毛山動物園では、私の園長時代に入園者UPの一助として始めたビアガーデンを8月の土・日曜日に開催しています。「酔った人が動物に悪戯したら」「酔った人がいざいざをおこしたら」等、反対意見もありましたが「皆が楽しむ動物園で迷惑をかけるほど酔う人はいない」「暑い中ちよっと一杯飲む楽しみを!」と開催に踏み切りました。今もビアガーデンは盛大に開催が続いています。

その他にも様々な思い出がありますが、何かの機会にお話しできればと思います。今年、コロナウィルスの関係で、動物園も長い間休園していました。動物園にはたくさん動物がいますので、休園中も飼育員は、餌をやり、獣舎の清掃をし、動物の健康状態をチェックするなど、通常通りの仕事を行っています。

6月の再開後は、入園者の人数制限など、限られた条件の中で、お客様に楽しんでいただけるよう、職員一丸となって取り組んでいます。

進交会の皆様、是非、ご家族・ご友人

と横浜の3つの動物園に足を運んでください。



Y校から今日(イマ)を目指して職人に賭けた『一生』
質実剛健を旨とし誠を尽くす職人になろうと
今創業103年
量と値、小修理の専門店。和の文化を守る。



森下和装工業株式会社
代表 森下 正勝
昭37年Y校卒(硬式野球部)
〒245-0004
横浜市泉区領家3-9-7 電話 045-811-4696

横浜市立大学の新型コロナウイルス感染症に対する取組

本学が新型コロナウイルス感染症に対して取り組んできたことをご紹介します。

・学生

前期の授業は全てオンラインによる遠隔授業での開講となり、受講するための準備が整っていない学生にはタブレット端末の貸与などを行いました。後期も引き続き遠隔授業を基本とするものの、感染対策を講じたうえで一部の授業に対面式を取り入れています。

また、アルバイト収入の大幅な減少など、生活がひっ迫している自宅外通学の学生を支援するため、本学独自の経済的支援となる特別災害支援制度を創設して、一時金を支給しました。

・研究成果

医学群微生物学の梁明秀教授を中心とする研究グループは、新型コロナウイルス感染症に罹患した患者の血清中に含まれる抗ウイルス抗体の検出に成功し、診断法の確立や試薬キットの開発を進めています。この研究は実を結び、抗体検出の研究用試薬が6月に共同研究企業から発売されました。

また、7月に新型コロナウイルス感染症から回復した人の1年後までの抗体を調べるプロジェクトを発表し、現在研究が進められています。

・病院

2月のダイヤモンドプリンセス号における新型コロナウイルス感染症患者の発生直後から積極的に受け入れを開始し、その後も神奈川県内の重症・中等症患者を受け入れる中核的な医療機関としての役割を果たしてきました。公立の大学病院として、必要な医療を市民の皆様にも絶え間なく届けることが使命であると認識し、新型コロナウイルス感染症の診療と一般診療を両立すべく施設改修や専用病床の確保、飛沫防止シートを院内の各所に設置などの対策を講じました。

新型コロナウイルス緊急対策基金へのご協力をお願い

横浜市立大学では「新型コロナウイルス緊急対策基金」を設置し、大学・病院への支援を募っています。学生が安心して学修できる環境確保や困窮学生への支援を強化するとともに新型コロナウイルス感染症患者の治療と従来の医療機能維持のために最善を尽くしている附属2病院への支援を目的としています。

特に附属2病院では、病棟の一部閉鎖や診療を抑制せざるを得なかった影響などにより、経営状況が非常にひっ迫しています。

進交会会員の皆様からは、これまでも温かいご支援をいただいておりますが、今回の緊急事態を乗り越えるため、より一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご報告（2020年10月31日時点）

寄附件数 906件

寄附額 39,697,000円

これまでに寄せいただいた寄附金を活用して感染対策（サーマルカメラ導入）や遠隔授業実施のための環境整備を行うことができました。

詳しい情報は同封の募金趣意書、または大学Webサイトをご覧ください。

横浜市大 コロナ基金

検索

- ・一口あたりの金額は定めておりません。
- ・インターネットからもお申込みいただけます。



感染対策のためサーマルカメラを導入

問い合わせ先

横浜市立大学 基金担当

TEL : 045-787-2447

E-mail : kifu@yokohama-cu.ac.jp

祝 直木賞受賞!

金子 延康(市大商昭52卒)

馳星周(本名 坂東齡人 市大文昭62卒)さんは、一九六五年北海道浦河町生まれで横浜市大文学部を卒業後、出版社勤務を経てフリーライターに。九六年『不夜城』で吉川英治文学新人賞を受賞後、九九年『漂流街』で大藪春彦賞受賞など、数多くの作品で読者を魅了してきました。今年、『少年と犬』で見事、第一六三回直木賞を受賞!



『少年と犬』(馳星周)

『少年と犬』は、東日本大震災を背景に、犬と人間との「濃密で無垢な魂でしか通い合わない絶対的な絆」を描いた物語です。

馳さんから、同窓生や現役生に力強い励ましのメッセージを頂きました。

「わたしは子供の頃に、大好きな本」に会った。大好きな本をことん読み続け、小説家になり直木賞をいただきました。今は大変に厳しい時代です。そんな時代にあっても、大好きなものがある。でもあれば、人生は豊かになります。学生たちが大好きなもの巡り会えますように。」

馳さんは、愛犬(バーニーズマウンテンドッグ)のために居を移し、散歩を楽しんでおられるそうです。



愛犬と散歩を楽しむ馳星周さん(写真提供:文藝春秋写真部)

「横浜市大新聞縮刷版 1966-1971」を発行!

横浜市立大学新聞会

沖村 民雄(市大文昭47卒)



ベトナム戦争を契機に反戦や大学改革などを訴えた学生運動から半世紀。最も高揚した1960年代後半に横浜市立大学新聞会が発行した「横浜市大新聞」の縮刷版が刊行されました。新聞会OBの皆さんは、激動の時代を記録として継承することで「自由とは何か、民主主義とは何か」ということを真剣に考えた時代があった。現代にも通じる『問い』を考える素材にしてほしい」と願っています。

定価 二千五百円(税・送料別)
注文は、書店又は平和文化
0338128618若しくは
09048192932
刊行事務局 沖村まで

市大だより

横浜市立大学の学生数 (令和2年5月1日現在)

学部	学生数	男子	女子	
国際総合科学部	1,701	717	984	
国際教養学部	594	149	445	
国際商学部	553	281	272	
理学部	267	124	143	
データサイエンス学部	191	127	64	
医学部	医学科	555	363	192
	看護学科	410	12	398
合計(人)	4,271	1,773	2,498	

大学院	学生数	博士前期	博士後期
都市社会文化研究科	43	25	18
国際マネジメント研究科	47	38	9
生命ナノシステム科学研究科	133	117	16
生命医科学研究科	111	92	19
データサイエンス研究科	42	39	3
医学研究科医学専攻	425	39	386
医学研究科看護学専攻	67	49	18
合計(人)	868	399	469

数字で見るYCU

- ・留学生数 115人(14カ国・地域)
(令和2年5月1日現在)
- ・海外留学・研修参加者 510人
(令和2年3月31日現在)

・TOEFL・ITP 500点※相当以上の学生 97.1%

・3年次に進級する最低達成水準
(令和2年5月1日現在)

※TOEIC 600点、英検準1級

・就職率 99.0%

・令和元年度国際総合科学部の就職実績

・医師国家試験合格率 96.9%

・令和元年度医学部医学科の実績

・(全国平均92.1%) ※既卒含む

・看護師国家試験合格率 96.8%

・令和元年度医学部看護学科の実績

・(全国平均89.2%) ※既卒含む

・男女比 男子42% 女子58%
(令和2年5月1日現在(学部生数))

YCU通信

「YCU通信」は年2回、卒業生の皆さまのご自宅にお届けしている大学発行の卒業生向け広報誌です。大学や在学生の今、卒業生の活躍情報などをお届けしています。広報誌が届いていないという方、住所変更を希望される方はお問合せ先までご連絡ください。

☆お問合せ先 学生支援課 卒業生担当

Tel.045-787-2026

Mail.obog@yokohama-cu.ac.jp



◇みなとみらいサテライト キャンパスを開設

令和2年4月に開設したみなとみらいサテライトキャンパスは、横浜ランドマークタワー7階の産学連携イノベーション拠点「NANA Lv. (ナナレベル)」の中にあり、大学院の授業を中心に、教育・研究を展開しています。

10月には、オープニング記念シンポジウムをオンラインでも配信し、多くの企業の方に参加いただきました。また、社会人を対象にしたエクステンション講座の「データサイエンス(全4回・10月)」と「経営学基礎(全4回・11月)」は申込開始後、すぐ定員に達するほどの高い関心をいただきました。他にも12月には、市民講座「横浜・みなとみらいの発展と横浜市立大学」を開催しました。

みなとみらいサテライトキャンパスは、企業と連携しながら、学際領域の人材育成、社会人教育拠点としての役割を担っています。公開講座もありますので、卒業生の方もぜひご参加ください。



◇SNS

横浜市立大学では、卒業生のみなさまにSNS(ソーシャルネットワークワーカース)を利用して大学情報をお届けしています。ぜひチェックしてみてください。

横浜市立大学卒業生担当
facebook ページ

大学・キャンパス・金沢八景の「いま」、卒業生・在学生の活躍など、卒業生のみなさまが「いいね!」と思う情報を発信してまいります。ぜひチェックしてみてください!

facebookを開いて、「横浜市立大学卒業生担当」と検索してください!

<http://www.facebook.com/YCU.alumni>

YCU X LinkedIn

世界最大級のビジネス特化型SNS「LinkedIn(リンクドイン)」上には、世界中に1,500人以上の横浜市立大学(YCU)ネットワークがあります。グローバルなフィールドで活躍するOB・OGとつながりたい方は、ぜひ「横浜市立大学カレッジページ」をご活用ください!

LinkedInを開いて、「横浜市立大学」と検索してください!

<https://www.linkedin.com/sdu/yokohama-city-university-18421>

◇思い出の風景(昭和37年)



昭和37年に金沢八景キャンパスの全体を山側から撮影。中央上に見える建物が当時の体育館で、その手前の空地にはこの年の4月から新校舎建設が着工し、翌年落成しています。

あなたの思い出の写真で
百年史を彩りませんか?

周年史に掲載する写真を募集しています。詳細は、下記連絡先までお問い合わせください。

横浜市立大学
百年史編集委員会 事務局 TEL 045-787-2076

※原則、ご提供いただいた写真は返却いたしません。

市大部活動だより

チアリーダー部が国際大会準優勝!

応援団チアリーダー部SEAGULLS(シーガルズ)は、令和元年8月の国内大会で2位という好成績を残し、令和2年2月にアメリカ・アナハイムで開催された国際大会USA Collegiate Championships 2020への出場権を手に入れました。国際大会への出場は創部以来初めてのことです。

出場直前の1月には金沢八景キャンパスの体育館にて壮行会を行い、卒業生や学生、教職員が国際大会での健闘を祈りました。

また、出場にあたっては卒業生をはじめとする多くの方々から渡航のためのご支援をいただきました。

会場に到着後、本場アメリカのチアリーダーの雰囲気刺激を受けながらも、本番に向けてコンディションを整えて挑みました。チームの努力と卒業生などからの応援が実を結び、最高の演技を披露することができ、初出場ながら部門の準優勝という快挙を達成しました。



◇【応援団チアリーダー部】

菅野 紗也 (市大総4年)

私たちSEAGULLSは、平成2年の創部以来29代目を迎え、現在部員数は25名です。大会でも好成績を残せるようになり、成長を実感しています。これもこれまでの歴史を築いてくださったOGの先輩方やご支援くださる方々のおかげです。感謝申し上げます。

チアリーダー部の活動は、各種大会への出場や地域イベント出演・浜大祭でのステージ披露などを中心に行なっております。今年度はコロナの影響で十分な活動ができない中、早く皆さんの前で演技ができる日を楽しみにトレーニングに励んでいます。

初心者が多いチームですが先輩後輩助け合って精進して参ります。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い致します。



◇【鉄道研究会】

浅香 柚月 (市大総3年)

鉄道研究会は令和2年で創部37年を迎えました。現在は、JRの全線乗車を目指す部員や模型・時刻表の収集をする部員、発車メロディーを自作する部員など個性豊かな学生で構成されています。

例年、模型運転会や旅行を開催しており、昨年度は三陸鉄道(岩手県)での車両の貸し切りなどを行いました(写真参照)。模型運転会ではOBの皆様にも協力いただき、毎年有意義な時間を過ごしております。

また、社会貢献として、地域の方向けに開かれた鉄道のイベントに参加し、模型や写真等の展示で多くの方に楽しんでいただいています。

現在、旅行やイベントの開催は厳しい状況ですが、オンラインで活動を進めていますのでTwitter(@yucute)やブログをぜひご覧ください。



ブログのURL

◇【ハンドボール部】

細井 龍之介 (市大総3年)

横浜市立大ハンドボール部は、市大体育館で週3回の練習を行っています。今年度は1年生10人の入部を決めており、2年生25人、3年生13人、4年生18人と合わせて計66人の大所帯となりました。コロナウイルスの影響で制限された活動の範囲内で、限られた時間を工夫して練習しております。また昨年度の秋リーグでは男子は7部1位となり、6部へ昇格となりました！女子は2部Bに所属しております。今年もチームの仲の良さという当部の強みを生かし、男女ともにOne Teamとしてこれからもハンドボールに打ち込んでいきます。



まごころ・信頼・サービスをお届けします。



株式会社
横濱屋

- 業務用酒類卸
- スーパーマーケット
- お酒スーパー
- 業務スーパー

〒232-0016
横浜市南区宮元町4丁目93番地 TEL 045 (741) 4747

コンビニエンスストア、スーパーストア、百貨店、
専門店、銀行など、多彩な事業を展開し、
時代とお客様のニーズに応え続ける
セブン&アイグループ。

私たちは、毎日の暮らしに寄り添い
社会とともに進化するグループを目指します。



<https://www.7andi.com>

Y校だより

◆着任のご挨拶

横浜市立横浜商業高等学校副校長

青木 恒夫

戸塚高校定時制からこの4月に異動してまいりました青木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の新学期は、通常であれば4月6日から始まる予定でした。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、休校が長期に及びました。長期休校による学習の遅れや、生活の乱れなどが懸念されている中、「学びを止めない」を合言葉に、本校教員の努力もあり、250本を超える動画配信とホームページを利用した課題配布を行い、有効的な学びを確保することができました。Y校関係者の方々には多くのご支援、ご協力をいただきましたことを、心からお礼申し上げます。

6月から生徒の登校がスタートしましたが、手指衛生、共用品の消毒、座席間隔の徹底、マスク装着などによって、感染リスクを下げながらの活動を余儀なくされています。このような中でも、生徒たちはそれぞれの目標に向かって学校生活を過ごしている様子で、とても元気づけられます。生徒たちがこの一年、色々なことを経験しながら一歩一歩成長し、大輪の花を咲かせる姿を間近で見られるのをとても楽しみにしております。

生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、微力ではございますが精一杯精進し、さらに充実した教育活動を共に目指していきたいと思っております。今後と

もご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

◆商業科の近況

商業科主任 宝珠山 悟

Y校は現在1つめの学年がスポーツマネジメント科1クラス、商業科4クラス、Y校ビジネスチャレンジクラス(YBCクラス)1クラス、国際学科1クラス、計7クラスで構成されています。国際学科を除く6クラスの生徒は商業科としての卒業となります。今回は全国的に珍しい学習内容を展開しているスポーツマネジメント科における研修旅行を紹介します。

アメリカへのスポーツマネジメント科の研修旅行は単なる旅行ではなく、スポーツビジネスを体感できる貴重な授業の一環としてとらえています。過去にこの海外研修に感化され、本校卒業後にアメリカへの進学を希望した生徒が2名おります。本年度もアメリカ進学を希望している生徒が1名おり、生徒の進路に大いなる影響を与えています。以下昨年度のトピックスです。

・ドジャー・スタジアムのベンチにて

名門ロサンゼルス・ドジャースのメインスタジアムの見学。グラウンド面での見学はなかなかできない。こうした体験が施設を含めたスポーツビジネスへの興味関心を増していくことになる。



・NBAの試合観戦



ロサンゼルスダウスタウンにあるステイプルズ・センターで生のNBAの試合を観戦。試合以上に会場のエンターテインメント性がすごい。

日本のスポーツシーンとの差異に生徒は大いなる刺激を受けたようである。ファシリテイマネジメントに興味を持つ生徒が例年出てくる。

研修を通して、アメリカのスポーツビジネスのあり方を体感でき、この学びを学校での学習や進路に活かしていくことが出来れば、実地体験の学習の意義がより高まってくると考えています。

◆YBCクラスの11年目

YBC経営会議主任 勝倉 隆郎

YBCクラスは、ビジネスに関して必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、さらに、産業・流通構造等、変化する経済社会について主体的に学ぶことで、将来、社会で広く活躍できるリーダーを育成するため、専門教科「商業」や英語学習、そして「総合的な学習の時間」などを組み合わせ、教科間連携を視野に入れた独自の教育課程を編成している。

YBCクラスの「総合的な学習の時間」は、名称を「キャリアプランニング」とし、学校内外での様々な活動を行いながら、自ら設定した課題に関する研究を通して、問題解決する資質や能力を育てることを目的とする。

令和2年3月卒業の進路状況は、40名中27名が四年制大学に進学(内訳は、早稲田大学(教育学部・明治大学(商学部)等)一般入試合格者が7名、中央大学(経済学部)・法政大学(経営学部)等推薦合格者が20名)、専門学校へ7名、外務省等公務員が3名、民間企業へ1名、進学準備者が1名という結果であった。

今年度においては、新たに1年生の苦手意識攻略のための英語特別講座の開講や、2年生では毎日新聞社・関東学院大学とのコラボレーションで「ニュース時事能力検定試験をどう広めていくか?」をテーマにN検定のプロモーション戦略を考え、関東学院大学主催のプレゼン大会に参加予定である。

◆国際学科の近況報告

国際学科主任 八木澤 和人

これまでの当たり前が当たり前ではないことを気づかされたこの半年でした。

国際学科では国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)を自分ごととして考え、未解決の社会課題に主体的に取り組む姿勢を育んでいます。「学校がない」非日常の生活の中で、ある生徒の振り返りの中で、難民キャンプや学校に行けない子どもたちを「可哀そう」だとか「教育は大切」だと同情はしても、どこかで「自分には関係がない」と思っていたと言いました。友達に会えないことや学力不足の不安などを振り返り、「二度と学校に行けなくなるのがないよう切に願っていたのが印象的でした。

今年度は「コロナ禍のかわいそうな生徒」とは言わせたくないですし、むしろ

「コロナ時代に皆さんの優秀な生徒が生まれた」と言われる教育をしていきたいと考えています。この経験がきつといつか自分を支える力に変えられるよう「主体性」「協働力」「課題解決能力」を重点に国際学科の教育を展開していきたいです。

多くの行事が中止に追い込まれる中、国際学科の最大行事Y.S.F—Jを実施しました。通常は招待校の生徒を含め約100名という規模の会議ですが、今年度はY校のみで実施しました。今年のテーマは「平和」で、分科会トピックは「暴力」「差別」「情報」「戦争」「医療」5つの視点から平和について話し合いを持ちました。調べ学習で終わらないように、高校生の立場で考える提言ができるように準備をしています。12月のY.S.Fでは使用言語が英語になるので、会議資料を英語でまとめたり、英語で発表や議論したりしていきます。



・Y.S.F (Yokohama Student Forum)
Y校国際学科がすべてを運営する国際学生会議です。
国内約10校、海外数校の生徒を招いて、地球規模の問題について英語で話し合います。

◇スポーツマネジメント科の様子

スポーツマネジメント科主任
坂本 静香

令和2年4月、横浜商業高等学校スポーツマネジメント科は7期生を迎えました。入学してしばらくは学校に登校できず、6月からの学校再開となり、2学期になってやっとY校生らしくなってきたように感じます。

2年生は夏休みにはインターンシップで、2月にはロサンゼルスへの研修旅行を通してたくさんのご経験を体験していただく予定でしたが、いずれも実施できませんでした。

本校に限らず、全国の高校生が今までのまま引退を迎えました。高校生活の大半を部活動へ力を注いできた生徒たちにとっては、悔しく、やるせない思いをしたことと思います。

7月27日に、能勢康史氏の講演会を実施しました。また、10月には元オリンピック選手のパフォーマンスを予定しています。その他にも、今までスタートできなかったプログラムも実施していく予定です。そしてこのご時世だからこそ、アイデアを出し合って、新しい取り組みにチャレンジしていきたいと思っています。



◇進学について

進学指導部主任 八木澤 和人

今年から新しい入試制度及び名称が始まります。今後予想される社会の変化(グローバル化、産業構造の転換、AI等技術の進展)に対応できる人材育成の観点から、学生や生徒に求められる力も変化していきます。これまでの「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力」を一層重視するという考えが新入試制度のベースにあります。

これまでの大学入試は、一般入試、AO入試、推薦入試の大きく3つの入試区分が設定されていましたが、一般入試は一般選抜に、AO入試は総合型選抜に、推薦入試は学校推薦型選抜へと、それぞれ呼称が変更されます。

総合型選抜と学校推薦型選抜では、各大学が実施する評価方法(小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、教科科目に係るテスト、資格・認定試験の成績など)など、面接や提出書類だけではなく、高校での学びをいかに大学での深い学びに結びつけるかが問われるようになります。つまり、高校・大学の7年間のスパンで自分の夢実現を考えていく

時代になったと考えています。

今年度の3年生の進路希望は、6月15日現在、民間就職32名、公務員28名、大学・短大28名、専門学校43名、その他未定7名となっています。希望進路先の数の大きな変動はありませんが、大学・短大志望者の中で推薦入試を希望している生徒数は増加傾向にあります。生徒の進路実現に向けて引き続き支援していきたいと考えています。

◇民間就職について

就職指導部主任 剣持 三千広

今年度は、新型コロナウイルスの影響で就活開始が6月からと大幅に遅れてのスタートとなりました。登校開始日が幾度と修正され、就活計画もそれに合わせて何度も修正しなければなりません。それでも何とか、4月分と5月分を取り戻すかのように就活計画を作成し、現在はその計画に基づいて、会社見学等駆け足で進めているところです。

今年度の民間就職希望者は、多少の進学への移動はありましたが、男子11名、女子19名の合計30名でスタートしています。例年より少し少ないようですが、これも新型コロナウイルスの影響かと思われます。

7月からの求人票公開では、求人数が相当減少するのはと心配しましたが、思ったより求人数の減少はなく、ほっとしているところです。おそらく企業側は様子見の状況で、来年度が減少の年になるのではないかと危惧しております。

このような状況の中、生徒たちは現在、会社見学が終わり、10月16日以降の入社試験に向けて取り組んでいます。入社試

験は例年9月16日が解禁ですが、今年度は厚労省からの要請で1か月遅れとなりました。しかし、求人票の受付は例年通り7月1日からで、生徒の受験先選びには特に支障はありませんでした。

入社試験の内容は、面接試験、筆記試験、性格検査、作文など会社によって様々ですが、内定に大きく貢献しているのが先輩方の残してくれた過去のデータです。このようなところでも先輩方のご努力は生かされておりますが、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

◇Y校おやじの会

会長 渡邊 光雄

おやじの会はY校を管理されている職員の方々をサポートする為、父兄が中心となり2005年に発足いたしました。現役の父兄とアドバイザーとしてOBが参加し、Y校を陰で支えるべく精を出して活動しております。

主な活動はY校内の庭園や施設の清掃整備・維持管理活動となります。その他にも様々な活動を行っており、大きなイベントとしてはY校祭で毎年模擬店を出店しております。

今年はコロナウィルスの影響で活動を自粛してりましたが、9月より活動を再開することができました。本来でしたら、月1回2時間程度の清掃活動を行い、その後汗を流しに銭湯へ、そして地域のおいしいお店での懇親会にておやじの会の活動について積極的な意見が交わされるのですが、現在活動後のお楽しみはコロナウィルスが終息するまで会員たちも我慢しております。

またおやじの会の会員には様々なバツクグラウンドを持った方々がおり、同じ趣味を持った仲間が集まり楽しんだり、ビジネスで繋がったりと会員間の絆も深まりメリットとなっておりです。

県内の高校では父兄が中心となって活動する団体はほとんどないと聞いております。おやじの会は今後もY校の発展や地域の為に陰ながらサポートをできるよう精いっぱい頑張りますので、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくをお願いいたします。



Y校部活動だより

◇卓球部の活動報告

卓球部顧問 内田 涼介

今年度、横浜商業高校卓球部は新入部員として男子13名、女子9名を迎え入れ、総部員数は51人になりました。卓球部はコロナウィルス感染拡大防止の予防策として、練習後に練習場を消毒するといった感染対策を徹底した環境の中で練習に励んでいます。

今夏は全国高校総体(インターハイ)や県総体が中止となりましたが、8月30

日に横浜市中区の横浜武道館で「神奈川県高校3年生大会」が実施されました。大会は無観客かつ応援等の声を出すことが制限されているという過去に例のない大会模様で行われました。コロナウィルスの影響で各大会が中止になり、学校が再開した6月に1年生と入れ替わりで3年生は引退をしました。しかしこの3年生大会をきっかけに3年生が部活動に復帰したことで、すべての学年がそろって部活動が行われる日が訪れ、普段よりも活気あふれる練習風景がみられました。

9月からは新人大会の地区大会が始まりました。久々の大会に選手の表情は生き生きとしていたように思えます。部活動や大会が少しずつ再開し、緊急事態宣言前の日常が戻りつつあります。活動再開にあたって、これからも卓球部の応援をよろしくお願

いします。



◇硬式野球部の近況報告

硬式野球部顧問 廣濱 優

日頃より多大なる御支援御声援をいただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの影響により3月から学校は休校となり、春の県大会が中止。5月には緊急事態宣言が発令され、選手権大会の中止が決定し、野球部員並びに関係者が悔しい思いをしました。それでも5月25日に代替大会の開催が決定し、無観客試合となりましたが試合ができる喜び

創業87年の
パッケージメーカー

横浜リテラ

Since 1933



ご相談・お見積りなどお気軽にお問い合わせください

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 1965-4
TEL: 045-811-2821 FAX: 045-811-2128
www.yokohamalitera.com



を感じました。6月からようやく分散登校という形で学校が再開され、3年生を集めてミーティングが開かれました。ミーティングでは心に閉じ込めていた悔しい思いや怒りの感情をすべて吐き出し、涙を流したことによって、代替大会に向けてチームが一つにまとまりました。選手は、これまで応援してくれた保護者や学校関係者の方などに代替大会を全力でプレーし、感謝を伝えようと8月まで誰一人欠けることなく努力を続けてきました。

2回戦から始まった代替大会は4回戦まですべて完封勝利。投打がうまくかみ合いよい流れで5回戦を迎えます。次戦の相手は、強豪の桐光学園。序盤に先制されるも、Y校は何度もチャンスを作りません。しかし、なかなか得点が奪えず試合は進みません。終盤になっても相手の壁を崩すことができず0-3で惜敗となりました。

秋季県大会も無観客試合が決定し、日頃より応援していただいている皆さまには選手の輝く姿をお見せすることができずにとっても残念に思いますが、今後とも変わらず御指導御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



◆ボート部活動報告

ボート部顧問 會田 尚貴

今年度は新型コロナウイルスの影響で、8月に実施予定だったインターハイや10月に実施予定だった国民体育大会が中止となってしまう。特にインターハイでの優勝に向けて、昨冬から一生懸命練習に取り組んできましたが、中止となってしまう。部員たちのことを考えると、忸怩たる思いでいっぱいです。9月には大阪府でインターハイの代替大会開催され、ボート部からは4名の選手が出場します。御声援をいただくと幸いです。

さて、ここ最近では感染症対策を実施した上で、日帰りの相模湖練習を行っています。消毒やマスク・フェイスガードの着用など、これまでと異なる形での遠征ですが、やっと最近慣れてきました。また、相模湖に行く際には貸切バスを利用していきます。利用料金については、ボート部後援会の辻村会長、山本様をはじめとした、ボート部OB・OGの皆様によくの寄付をいただき、部員たちの負担を減らすことができています。この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。

ボート部だけではなく、他の部活動も感染症の影響で思い切り活動に取り組めない状況ではあります。いつかこの困難を乗り越え、また活気あるY校の部活動が戻ってきてくれることを祈っています。

◆弓道部活動報告

神奈川県夏季特別弓道代替大会優勝
弓道部顧問 久保 保忠

3年生菊地なず葉が9月6日県立武道館で全国総合体育大会（インターハイ）と県総体の中止を受けて行われた代替大会において優勝いたしました。本人の喜びの声をお届けします。

「休校明けの初めの練習では、弓の引き方を忘れてしまったような状態でしたが、大会に出たい気持ちで一生懸命練習をして大会に間に合わせる事ができました。

大会当日は、8射6中でしたが2立とも3本目を外し、少し悔いが残ります。優勝決定の射詰めで、今回は冷静に自分らしく弓を引くことができたので、優勝できたのだと思います。

前日に、顧問の久保先生から『試合では大きく引くこと』と言われていましたが、本当にその通りだと思いました。また、コーチの池田先生、顧問の鈴木先生のご指導もあって今回の大会結果につながったと思います。今だに実感はありませんが、高校弓道最後の大会で優勝することができて本当に嬉しいです。このことを誇りに思い、今後も弓道を自信をもって続けていきたいです。』



自動車保険・火災保険他各種損害保険取扱

ミユキ

御幸 株式会社

〒245-0009 横浜市泉区新橋町1212番地 アイコスビル3階
☎045-443-8231 FAX 045-443-8232
e-mail miyuki@miyuki-ins.com

● 取扱い保険会社 ●

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社

～ あらゆる人々に慈しみの心をもって接する企業でありたい～

株式会社 アイスコ

iceco フローズン・チルド食品卸
スーパー生鮮館TAIGA

横浜市泉区新橋町1212番
TEL 045-811-1302 FAX 045-812-1001
Y校 昭41年卒

進交会だより

◇活動報告

※2019年度一般社団法人進交会総会
令和2年5月23日(土)に新進交会館
3階で開催予定でしたが、新型コロナウイルス
による感染予防のため中止とし、「書面
による表決」に変更し郵送で実施しまし
た。その結果、第一号議案 2019年
度事業報告(案)、第二号議案 2019年
度貸借対照表及び正味財産増減計算書
(案)承認の件、第三号議案 令和2・3
年度理事・監事選任決議の件のすべてが承
認されました。

※2020年度第1回理事会(令和2年
6月26日進交会館3階にて開催)にお
いて、令和2・3年度の役員が以下の
とおり選定されました。

【令和2・3年度役員】(○印は新役員)

- | | | | | | | | |
|-----|-------|------|-------|------|------|------|------|
| 理事長 | 古屋文雄 | 副理事長 | 田宮国興 | 会計理事 | 浅木克眞 | 常務理事 | 長倉靖彦 |
| 理事 | 金子延康 | 理事 | 遠山慎一 | 理事 | 桑原正子 | 理事 | 丸山孝志 |
| 理事 | 中代繁 | 理事 | 山田喜美代 | 理事 | 大宮勲 | 理事 | 星野匡 |
| 理事 | 大久保千行 | 理事 | 鈴木喜代志 | 理事 | 中島豊 | 理事 | 鈴木英夫 |
| 理事 | 三浦敬 | 理事 | 石井喜代志 | 理事 | 木場裕子 | 理事 | 舛水洋 |
| 理事 | 谷津章一 | 理事 | 小野塚章 | 理事 | 木場裕子 | 理事 | 村上市宏 |
| 理事 | 谷津章一 | 理事 | 五十嵐裕子 | 理事 | 木場裕子 | 理事 | 村上市宏 |

正味財産増減計算書総括表

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月 31日
(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	美澤基金	総合計
(1) 経常収益				
基本財産受取利息				0
広告料収益等	568,986			568,986
貸室収益		654,659		654,659
共益費収益				0
光熱費収益				0
みなと倶楽部収益				0
文化教室収益				0
受取入会金	5,960,000			5,960,000
受取会費	257,000			257,000
受取寄付金			5,359,646	5,359,646
雑収入	2,255	12,007,436	54	12,009,745
経常収益計	6,788,241	12,662,095	5,359,700	24,810,036
(2) 経常費用				
会報発行費	897,167			897,167
その他の事業費	329,275	568,766		898,041
行事費		1,810,220		1,810,220
慶弔費	0	0		0
母校関係費	1,139,000			1,139,000
奨学金	1,040,000			1,040,000
みなと倶楽部運営費		514,834		514,834
文化教室運営費		0		0
諸給	2,210,214	3,315,322		5,525,536
法定福利費		0		0
交通費	79,001	438,279		1,037,522
通信費	950,304	87,218		1,388,069
管理費	0	1,388,069		100,297
修繕費	100,297	0		93,524
光熱費	366	93,158		107,915
会議費	24,051	83,864		1,710,821
消耗品費		1,710,821		1,710,821
租税公課	0	74,500		74,500
固定資産税		1,345,000		1,345,000
減価償却費		2,032,067		2,032,067
支払利息		151,232		151,232
保険料		33,790		33,790
図書費	18,840	18,839		37,679
諸会費		0		0
衛生費		0		0
雑費	36,308	430,161	15,249	481,718
経常費用計	6,824,823	14,096,140	15,249	20,936,212
当期経常増減額	△ 36,582	△ 1,434,045	5,344,451	3,873,824
一般正味財産期首残高	118,389,530	△ 171,243,780	71,585,282	18,731,032
一般正味財産期末残高	118,352,948	△ 172,677,825	76,929,733	22,604,856
指定正味財産期末残高	20,359,147			20,359,147
正味財産期末残高	138,712,095	△ 172,677,825	76,929,733	42,964,003

貸借対照表総括表

令和2年3月31日現在
(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	美澤基金	総合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	11,997,232	0	269,071	12,266,303
未収入金				0
前払費用				0
流動資産合計	11,997,232	0	269,071	12,266,303
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
奨学基金・定期預金	12,919,147			12,919,147
基本金・定期預金	7,440,000			7,440,000
基本財産合計	20,359,147			20,359,147
(2) 特定資産				
土地	28,332,089			28,332,089
特定資産合計	28,332,089			28,332,089
(3) その他の固定資産				
建物		536,746,954		536,746,954
建物付属設備		958,966		958,966
什器備品		5,241,574		5,241,574
長期貸付金		0	76,660,662	76,660,662
その他の固定資産合計		542,947,494	76,660,662	619,608,156
固定資産合計	48,691,236	542,947,494	76,660,662	668,299,392
3. 事業間貸借	129,902,140	△ 129,902,140	0	0
資産合計	190,590,608	413,045,354	76,929,733	680,565,695
II 負債の部				
1. 流動負債				
前受金	0	0	0	0
従業員預り金	27,760	0	0	27,760
流動負債合計	27,760	0	0	27,760
2. 固定負債				
前受入会金	18,680,000			18,680,000
預り金				0
預り保証金		6,033,270		6,033,270
預り敷金				0
長期借入金	33,170,753	579,689,909		612,860,662
固定負債合計	51,850,753	585,723,179		637,573,932
負債合計	51,878,513	585,723,179		637,601,692
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
奨学基金	12,919,147			12,919,147
基本金	7,440,000			7,440,000
指定正味財産合計	20,359,147			20,359,147
(うち基本財産への充当額)	20,359,147			20,359,147
2. 一般正味財産	118,352,948	△ 172,677,825	76,929,733	22,604,856
正味財産合計	138,712,095	△ 172,677,825	76,929,733	42,964,003
負債及び正味財産合計	190,590,608	413,045,354	76,929,733	680,565,695

麵処 おおぎ (進交会館1階)

うどんと酒肴



◎馬車道・横浜市役所前店(進交会館1F)
横浜市中央区相生町6-111 電話 045-681-2152

◎大通り公園前店
横浜市中区蓬萊町1-1-3
電話 045-243-0390

◎常磐町店
横浜市中区常磐町3-22-3
電話 045-232-4040



商業施設・オフィス・リノベーション・設計施工

株式会社タテシン

会長 渡辺清和

(Y校 昭和45年卒 バドミントン部)

一級建築士事務所

〒 232-0022 横浜市中区高根町4-29

☎045-242-1320 ☎045-262-4026 (不動産部)

Y校会だより

☆Y校会について

Y校会とは？ ↓ Y校会は一般社団法人進交会の内部組織としてY校の卒業生全員を対象として平成9年に発足しました。

目的は？ ↓ Y校会は母校Y校及び在校生への支援と会員相互の親睦を図ることを目的として活動しています。

会員は？ ↓ Y校の卒業生全員がY校会会員となります。

会費は？ ↓ 年間1,000円以上（上限はありません。任意です）の会費の納入をお願いします。

※進交会会費（終身会費30,000円または年会費3,000円）とは別枠になります。

会費納入者数は？ ↓ 現在、会費納入者は550名ですが、1,000名体制にすべく募集中です。

この機会に、是非、Y校会会費の納入にご協力をお願いします。

☆お問合せ・詳細は・・・
Y校会事務局（安川（昭44卒）迄
電話0456816575

☆Y校会活動について

【Y校会海外研修奨学金の支援】

海外研修を目指すY校生。その志に励ませて、ニューヨークへの研修生には1名10万円、総額20万円を支援。台湾への研修生には1名5万円、総額10万円を毎年支援しています。

【主な行事・親睦会】

- 5月 社会見学会
- 7月 歌舞伎鑑賞教室
- 8月 暑気払い
- 10月 Y校祭 Y校会ルーム開設
- 12月 Y校会の集い
- 12月 落語鑑賞会
- 不定期 Y校会講座

※令和2年度はコロナ禍の為活動を中止としました。

Y校37年ぶりのドラフト指名 おめでとつございませう。

Y校硬式野球部、笹川吉康君が10月26日のプロ野球新人選択会議で潜在能力の高さを評価され未完の利器としてソフトバンクから2位指名を受けました。身長193cm、85キロ、50m6秒の俊足好打の大型外野手として、1983年に中日に3位指名された三浦将明投手（昭59卒）以来37年ぶりのドラフト指名となります。



【10月29日、Y校校長室でソフトバンクより指名のあいさつを受けた際の本人コメント】
「（指名の瞬間は）凄くうれしかったんですけど、びつくりというかまだ理解ができていないという感じでした。今日あいさつして、少しずつ実感が湧いてきました」

そして「打ち損じしたり、こすったりしてもホームランになるという打者になった」と理想像を語りました。また、ソフトバンクは27日に優勝を決めたばかりでリーグで優勝して強いというのと、育成選手から千賀選手とか甲斐選手とかが活躍していて、育成がうまいというイメージ」とソフトバンクの印象と夢の舞台に向け「プロ行つてからが勝負。ここから努力して、早く1軍に入りたいです」と意気込みを語りました。



(ソフトバンク球団と撮影)

市大同窓会だより

◇コロナ禍での市大同窓会活動について

進交会副理事長・市大同窓会会長

金子 延康（市大商昭52卒）

前回の会報発行から約半年間の活動と今後の活動計画についてご報告します。

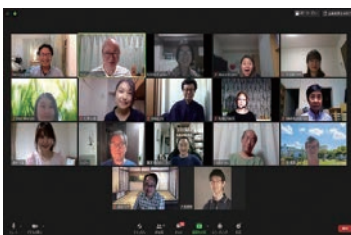
□最近の活動

【同窓会&市大 オンラインミーティング】
新型コロナウイルス感染予防のためオンラインでの活動を中心に行いました。

同窓会会則にも謳われている、SDGs（エスディージーズ）持続可能開発目標）等地域貢献を行うため、5月から「横市大&同窓会オンラインミーティング」を月に2回程度開催しました。ミーティングには同窓生、市大教職員、現役学生、市職員、地域の方が参加、二見理事長、相原学長にもご参加いただきました。同じ目標を共有し話し合う過程で、現役学生さんたちの的を得たコメントや、皆さんの熱い思いと本音のトークに触れる場面もあり、改めて、皆がつながり連携することの意義や効果の大きさを感じました。

【市大同窓会総会2020】

コロナ禍中のため開催が遅れていた同窓会総会を、十月三十一日に進交会館で開催できました。同時にオンラインでも配信し多くの方に参加頂きました。



□今後の取り組み 【SDGs推進の取り組み】

横浜市のSDGsサポート補助金に応募し採択となりました。同窓生の皆さまにアンケート調査やオンラインミーティングにご参加いただきます。既に食育と海の環境整備などをテーマとしたモデル事業を開始しています。来年2月にオンラインにて事業報告会を開催する予定です

【同窓会名簿のメールアドレス把握】

現在の同窓会名簿ではメールアドレスが把握できておらず、メールでの連絡ができません。同窓生の情報共有、連携強化を進めるためにメールアドレスを同窓会に送っていただきますよう、お願いいたします。（詳細は同封のチラシをご覧ください。）



□お知らせ

◎市大同窓会の会費は年会費二十円、終身会費は二万円です。会費の納付は、

ゆうちょ銀行口座：002800089065
加入者名：横浜市立大学同窓会にお願
いします。

◎Facebook（fb）の市大同窓会のページ「横浜市立大学同窓会（公開G）」にぜひご参加ください。

訃報

- 平成20年 原 忠彦(昭40商)
- 平成23年 石原 豪(昭31Y)
- 平成24年 山崎 武(昭37商)
- 平成25年 秦 公一(昭55数)
- 田 辺 康之(昭19専)
- 湯 口 正和(昭25医専)
- 杉 山 輝彦(昭30医大)
- 平成26年 新井 順(昭16Y)
- 惟 村 正司(昭20Y④)
- 宮 澤 清秋(昭27Y)
- 稲 垣 實泰(昭32商)
- 西 迫 寿(昭33商)
- 浅 子 進一(昭40理)
- 竹 田 達道(昭44化)
- 平成27年 田 中 良一(昭18専)
- 柳 川 武彦(昭28医大)
- 秋 山 通泰(昭32文)
- 石 井 康弘(昭34Y)
- 平成28年 鬼 頭 勲(昭12専)
- 齋 藤 文夫(昭15専)
- 加 藤 博(昭17Y)
- 大 野 益雄(昭21Y)
- 杉 山 禎子(昭29Y)
- 鈴 木 正(昭32商)
- 内 田 和子(昭36Y)
- 田 測 博(昭38文)
- 清 水 正代(昭42Y)
- 宮 下 俊一(昭44Y)
- 平成29年 田 中 一雄(昭15専)
- 加 藤 実(昭16専)
- 古 野 辰哉(昭20Y⑤)
- 野 本 弘(昭23Y)
- 後 藤 紀男(昭25医専)
- 厚 浦 貞雄(昭27Y普)
- 石 川 秀夫(昭30Y)
- 市 川 清二(昭30商)
- 金 井 政照(昭33文)
- 菅 隆昌(昭33理)
- 平 野 一也(昭33理)
- 重 田 勇(昭34Y)
- 倉 田 豊良男(昭35文)
- 野 口 直夫(昭36商)
- 金子 国昭(昭36理)
- 岡 田 政春(昭41商)
- 八 束 厚生(昭45商)
- 長 塚 泰明(昭55医)
- 的 場 博子(昭61医)
- 平成30年 榎 幸雄(旧教員)
- 田 中 光雄(昭13Y)
- 佐 藤 幸吉(昭14Y)
- 青 山 静夫(昭15専)
- 後 藤 芳夫(昭17専)
- 村 松 康雄(昭17専)
- 新 井 和男(昭18Y)
- 石 川 幸一(昭20Y④)
- 永 田 典生(昭20Y④)
- 大 沼 勤(昭21Y)
- 太 田 三郎(昭22専)
- 小 泉 清(昭22専)
- 加 藤 富也(昭23専)
- 野 原 義弘(昭24専)
- 間 宮 喜保(昭25Y)
- 長 谷 川 新次(昭25Y)
- 本 橋 昇(昭26医専)
- 藤 川 浩通(昭27商)
- 永 井 順(昭28Y)
- 山 下 昇(昭28Y)
- 松 本 國昭(昭28Y)
- 高 橋 文雄(昭28医大)
- 白 田 湛(昭29商)
- 水 元 雄一(昭29商)
- 福 田 旭(昭30Y)
- 小 林 富士雄(昭30商)
- 庄 司 靖夫(昭30商)
- 中 野 達朗(昭30商)
- 奥 田 孝之(昭31Y)
- 後 藤 潔(昭31商)
- 宇 佐 見 晴雄(昭32Y)
- 飛 鳥 田 義(昭32文)
- 山 名 康之(昭32文)
- 久 保 英章(昭33商)
- 太 田 成昭(昭34商)
- 石 川 博一(昭35商)
- 名 川 誠(昭35商)
- 松 本 修一(昭35商)
- 池 田 栄子(昭36Y)
- 平 野 一久(昭37Y)
- 本 田 三誠(昭37商)
- 折 田 幸男(昭37商)
- 三 上 幸甫(昭37医)
- 鎌 田 勝甫(昭38医)
- 原 良子(昭38医)
- 織 田 茂美(昭39商)
- 鈴 木 斐庫人(昭39医)
- 信 沢 敏一(昭40理)
- 上 野 厚(昭41文)
- 薬 科 征之(昭42商)
- 高 橋 静子(昭53文)
- 内 田 孝志(昭54文)
- 平成31年 森 大(昭18Y)
- 木 村 重久(昭20Y⑤)
- 藤 木 倬和雄(昭21Y)
- 高 橋 崇雄(昭27Y)
- 寺 山 晴男(昭27Y)
- 森 顕爾(昭28Y)
- 沖 田 光弘(昭28Y)
- 平 坂 文義(昭28Y)
- 田 畑 義道(昭28商)
- 相 川 義夫(昭29Y)
- 渋 谷 周二(昭30Y)
- 田 中 静(昭30Y)
- 田 中 英世(昭30商)
- 井 出 昭(昭31商)
- 村 田 豊太郎(昭31商)
- 谷 中 祐二(昭32商)
- 山 中 勉(昭32商)
- 岩 瀬 透(昭33医)
- 糸 井 正純(昭35商)
- 德 江 清司(昭35商)
- 岡 田 守(昭36Y)
- 荒 木 庸安(昭37商)
- 菅 崎 俊江(昭38商)
- 菅 原 和夫(昭42文)
- 角 田 昭雄(昭44商)
- 古 川 典男(昭44商)
- 岩 堀 信二郎(昭48商)
- 令和元年 高 橋 實(昭13Y)
- 中 島 勇平(昭17専)
- 塚 田 志(昭19専)
- 井 上 準三郎(昭20Y⑤)
- 大 胡 政男(昭23Y)
- 上 崎 和子(昭25Y)
- 小 倉 孝彦(昭25専)
- 角 田 美智子(昭26Y)
- 小 泉 昌一(昭26専)
- 高 橋 進(昭26Y)
- 小 沢 敬治(昭26医専)
- 小 沢 進(昭27Y)
- 岩 崎 巖 照(昭28Y)
- 西 丸 與一(昭28医大)
- 牧 康行(昭29Y)
- 小 沢 フジ江(昭29Y)
- 岩 宝 高峰(昭29商)
- 竜 田 全弘(昭30Y)
- 椎 野 進(昭30商)
- 中 村 正子(昭31Y)
- 北 川 作治(昭32文)
- 齊 藤 孝彦(昭33Y)
- 長 船 昇(昭33商)
- 島 田 馨(昭33商)
- 平 沢 信夫(昭33商)
- 富 田 甲子男(昭33文)
- 白 藤 誠一(昭34Y)
- 出 原 基次(昭34商)
- 富 館 一郎(昭34商)
- 中 西 道雄(昭34文)
- 國 兼 聰雄(昭35商)
- 相 原 喜代子(昭37Y)
- 水 藤 剛(昭38文)
- 赤 城 清(昭39Y)
- 田 代 忠之(昭39Y)
- 岩 永 末徳(昭39商)
- 金 子 憲司(昭39商)
- 大 和 田 康清(昭39文)
- 海 部 暁(昭39医)
- 鈴 木 雅夫(昭40Y)
- 関 口 誠(昭40Y)
- 土 志 田 健(昭40Y)
- 多 田 敏治(昭40文)
- 杉 本 美智子(昭43文)
- 鈴 木 榮治(昭43文)
- 加 藤 隆子(昭45Y)
- 植 田 義治(昭47Y)
- 佐 藤 丈男(昭48Y)
- 長 岡 宏治(昭50生)
- 宮 崎 伸光(昭55文)
- 高 橋 延和(昭63医)
- 不明
- 平 井 義久(昭31商)
- 大 田 和雄(昭24専)
- 高 橋 昌一(昭26Y)
- 小 泉 敬治(昭26医専)
- 小 沢 進(昭27Y)
- 岩 崎 巖 照(昭28Y)
- 西 丸 與一(昭28医大)
- 牧 康行(昭29Y)
- 小 沢 フジ江(昭29Y)
- 岩 宝 高峰(昭29商)
- 竜 田 全弘(昭30Y)
- 椎 野 進(昭30商)
- 中 村 正子(昭31Y)
- 北 川 作治(昭32文)
- 齊 藤 孝彦(昭33Y)
- 長 船 昇(昭33商)
- 島 田 馨(昭33商)
- 平 沢 信夫(昭33商)
- 富 田 甲子男(昭33文)
- 白 藤 誠一(昭34Y)
- 出 原 基次(昭34商)
- 富 館 一郎(昭34商)
- 中 西 道雄(昭34文)
- 國 兼 聰雄(昭35商)
- 相 原 喜代子(昭37Y)
- 水 藤 剛(昭38文)
- 赤 城 清(昭39Y)
- 田 代 忠之(昭39Y)
- 岩 永 末徳(昭39商)
- 金 子 憲司(昭39商)
- 大 和 田 康清(昭39文)
- 海 部 暁(昭39医)
- 鈴 木 雅夫(昭40Y)
- 関 口 誠(昭40Y)
- 土 志 田 健(昭40Y)
- 多 田 敏治(昭40文)
- 杉 本 美智子(昭43文)
- 鈴 木 榮治(昭43文)
- 加 藤 隆子(昭45Y)
- 植 田 義治(昭47Y)
- 佐 藤 丈男(昭48Y)
- 長 岡 宏治(昭50生)
- 宮 崎 伸光(昭55文)
- 高 橋 延和(昭63医)
- 不明
- 平 井 義久(昭31商)

編集後記

初冬の候、進交会員の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年四月に、第85号を新進交会館落成記念特別号として発行しました。今回、十二月に第86号をお届けいたします。次号からは皆様からのご寄稿を掲載して24頁とし、十月発行の予定です。

さて、本年度の直木賞は、市大卒業の馳星周さんが受賞されました。誠にめでとございます。今号に在校生への激励メッセージをご寄稿いただきました。

平成十年の進交会報第64号にいただいた特別寄稿「母校と『不夜城』」を、現在、進交会ホームページ(以下HP)に転載しております。併せて、ご一読ください。

また、市大校歌作曲の古閑裕而(作詞は西城八十)の記事は、本年度会報・HP委員となった西尾留美子氏のご寄稿です。Y校校歌作詞は森林太郎(鵑外)であることと考え合わせ、愛着ある校歌づくりにご尽力された先輩諸氏にあらためて敬意を表します。生徒や学生の皆様が良い伝統を受け継ぎ、夢や希望を実現されますと共に、進交会報がその契機となることを心より願っております。

コロナ禍の終息、進交会活動の再開、皆様のご健康をご祈念申し上げます。

末尾となりましたが、ご寄稿・広告掲載いただきました方々に厚くお礼申し上げますと共に、今後も皆様から会報やHPへのご寄稿をお待ちしております。

会報・HP委員長

桑原正子(市大文昭41卒)